

第4回蓮田市政策研究会議 会議録

開催日時	平成27年7月23日(木)	(開会)	午後1時30分
		(閉会)	午後5時00分
開催場所	蓮田市役所 307会議室		

議 事

1 開会

2 会議

- ・第2回会議のブレインストーミングにより出された様々な意見からメンバーが考える事業案を発表し、疑問点等の質疑応答を行う。
- ・各メンバー2～3程の提案を行う。
- ・今回は第3回会議から行っている発表の続きとなる。

提案や意見の内容は、以下のとおり。

・『蓮田駅前レジャー施設計画』…集客を考えた場合、駅前に施設があると効果的であるため、以前の屋上遊園地のようなものを作ることは出来ないか。親子連れで遊べる場所であっても良いと思う。

・『パルシー総合運動公園化計画』…文化会館の建設も進んでいるところだが、体育館を中心としてグラウンド等で他の色々な競技が出来るような運動公園のように整備出来ないか。

・『空き家利用』…空き家を利用し、移住を推進していくことは出来ないか。

・『体験市民プロジェクト』…空き家対策として、市が借り上げた空き家に一定期間試しに住んでいただき、蓮田市の良いところを知ってもらう。
他の子育て事業や観光事業と組み合わせて、市のアピールポイントを作ってから行うことで生きる事業である。

・『(仮称)市内美課の新設』…市内環境美化に特化した新課を新設する。街中の街路樹等の管理にしても、行ってはいるが満足の出来る状態ではないため、出来るだけ美しく気持ちのいい街になるよう環境を整えていく。

・『減らさない施策と増やす施策』…転出したくなるような原因を無くしていき、住みたくなるような事業を行う。誰にでも取り組み易く生涯スポーツと成り得る競技を提案し、環境を整える。結果、蓮田市の特色として盛んになり親しんでもらうことは出来ないか。
バス路線等は、他自治体と比べても蓮田市は充実している方だが、駅へのアクセスをより充実させ、便利に生活・活動することに繋がられないか。

・『公園パトロールキッズ事業』…実際に公園を利用する子供たちの視点で、改善をしていく。任命した児童に改善の発案や定期的なチェック等をしてもらうことにより、地域に愛着を持っていただくきっかけづくりをする。

・『空き家カフェ事業』…増加傾向にある市内の空き家を利用し、子育て世代のお母さん方がホッと一息寛げるような空間を提供する。近所で、子育て中の母親同士が接する場所とし、精神的な負担の軽減を目的とする。

・『学力向上事業』…小中学生の学力の向上と教育水準の高いまちのアピールを目的とし、様々な検定やユニークな資格にチャレンジする。「〇〇博士になろう!」と取り組むことで、学習意欲の増大に繋がっていくことが出来る。

・『商業施設誘致』…新蓮田SAが出来スマートICも整備されることから、蓮田で降りていただけるよう市内にアウトレット等の商業施設の誘致は出来ないだろうか。

・『定住化促進』…公園などのスペースにお花や木を植えてもらい管理していただくことで、地域に愛着を感じていただくことは出来ないか。

- ・『複合型アダプトプログラムの提案』…市民と行政が協働で進める「まち美化プログラム」であり、アダプト(adopt)とは養子にするの意で、一定区画の公共の場所を養子に見立て、市民が我が子のように愛情を持って面倒を見(=美化を行い)、行政がこれを支援するというもの。
- ・『蓮田キッズパーク宣言』…最近の子供は外で遊ばない、ゲームばかりしている、運動能力が低下しているという情報が一部であるが、街の中にそのような場所が無いからと思われる。公園ではサッカー・野球といったボール使用が禁止されていたり、「静かに利用しましょう」との看板が設置されているところさえある。
しかし、市内には公園は大小たくさんあるので、公園ごとの使い方のコンセプトを決めて管理をすれば少しずつでも解消されるのではないか。
プールは作れなくても、遊べる水場の提供なら出来るのではないか。
- ・『狹隘道路拡幅整備』…建築基準法では、原則建物の敷地は幅員4m以上の道路に接している必要があり、これを満たさないと建築は認められないという接道義務があるので、家が建ち並んでいる道路は4mで整備が出来そうだが現実には出来ていない。
これには、出来ていない理由もあるのだが、その部分に積極的にアプローチをして整備していくことは出来ないか。